

またまた、紀伊半島一周してきました。

今回は、青春18きっぷを使って、JRの鈍行だけで行こうと思ったのですが、そうすると単に列車に乗っているだけになるので、一部手抜きをして一周してきました。

- 4 : 30 起床
- 5 : 00 家を出て阪神武庫川駅まで歩く
- 5 : 30 ごろ阪神電車で梅田へ。
- 6 : 00 ごろ JR大阪駅から鶴橋へ。
- 6 : 17 近鉄の快速急行で松阪へ。
- 9 : X X 松阪から新宮行き普通に乗る。

多気駅で30分待ちなので、駅前を歩いていると、古い家の玄関の上にしめ縄があります。9月なので正月のしめ縄ではないと思います。伊勢神宮の近くなのでこのような風習があるのかもかもしれません。しめ縄の真ん中に笑門という表札のような札がついています。



多気駅前の家のしめ縄

梅ヶ谷駅につく。以前から気になっていたところなのですが、着いてみると特別なものは何もない駅でした。

尾鷲駅着。20分ほど停まるので駅前を歩くとここにもしめ縄がありました。

熊野市駅着。20分ほど停まるのでまたもや駅前をうろうろしに行く。駅前の地図に鬼が城が載っていたので、今回の目的地は熊野市駅に決定。駅を出るとタイミング良く「鬼が城」ゆきと書いてあるバスがきたのでそのバスに乗り込み鬼が城へ。



尾鷲駅前の家のしめ縄

しかし鬼が城に着いてみると高波のため鬼が城の周回歩道は通行止めになっていました。関東方面の台風の影響で大きな波が寄せていて遠目に見ていても迫力がありました。僕個人的な判断ではもう少し先まで行けそうに思えるのですが、観光客が多くいるところなので、あきらめて徒歩で戻ることにしました。鬼が城は東口がメジャーで西口がマイナーなので西口に行けば周回路に入ることができるかもしれないと思い、西口に向かいました。しかし、ここも通行止めと書いてあります。通行止めと書いてあるところが海の反対側で少しぐらいは歩いて大丈夫だろうと思い波が見えるところまで行こうと思い通行止めの看板を乗り越えて行きました。まだまだ上手の人がいるもので通行止めの看板がない磯から周回路に登ってくる地元の親子がいたので安心して(?)波が見えるところまで行きぼーっと大きな波を見ていました。30分ほど波を堪能し、おなかが空いてきたので、鬼が城の案内の女性の方に教えてもらった料理屋さんに向かいました。

しかしその店は昼休み中で、商店街の中にあるかき氷とさんま鮨の店に入りました。鮨のメニューはさんま鮨とあじ鮨だけで学校の帰りに寄る駄菓子屋さんの雰囲気のお店でした。おばあさんがしている店なのですが、ご主人が帰ってこられ新聞は?と聞きました。探してなさそうだったので、僕が松阪で買った「伊勢新聞」を出すとそれではないということで、さらに探し「南紀??」だったか「熊野??」だったかという新聞を出してこられました。三重県には地方紙が2紙もある県なのです。わが兵庫県は神戸新聞だけで三重には勝てないのです。「伊勢新聞」は小さな川の開発のことや、新任の役人の紹介などニュースと呼べるのかなと思う内容まで記載されていて、「熊野??」は亡くなった方の名簿も載っているという全国紙には絶対に載らない内容まで記載されているのです。アメリカでは全国紙が全体の2、3割(だったと思う)他は地方紙ということによく似た状況なのだと思います。世の中の流れや流行より、自分たちのまわりの小さくとも影響力の大きい出来事に興味があるという人が多いからなのかなと思いながら列車に乗り新宮へ。

新宮には何度か行ったのですが、浮島を見たことがなかったので浮島を見に行きました。住宅地の真ん中に突然森があり回りはコンクリートで固められた水路のような池です。数年前までは固定されておらず風が強いときには動いていたそうです。浮く仕組みを聞き理屈はわかりましたが土(泥炭)の上に木が生えているにもかかわらず浮いているということはなかなか納得はいかないのです。

新宮駅から和歌山行きの普通に乗る路につきます。車窓から荒波が見えるので写真を撮っていると不思議な事に気づきました。38枚を越えても写真がとれるのです。おかしいなと思い確認するとフィルムが入っていませんでした。ということで鬼が城の波の写真はありません。ちゃんちゃん



梅ヶ谷駅 何ということはない田舎の駅です